

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		塵芥収集事業		担当課	生活環境課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	昭和57年度～
	施策	循環型社会の形成		種別	法定事務
	基本事業	廃棄物の適正処理		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-040201-09 単独	根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 守谷市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
人口の増加に伴い、家庭から排出されるごみの量が年々増加したことにより、昭和57年から民間委託とした。	・ごみ収集日程表（クリーンカレンダー）に基づき、集積所に排出された家庭系一般廃棄物等の収集運搬を行う。粗大ごみについては、電話やインターネットで申し込みを受け付け、月2回戸別収集を行う。 ・ごみ収集日程表、家庭ごみ分別の手引き等の作成・臨時職員2名の任用（粗大ごみ受付、直接搬入受付） ・家庭系一般廃棄物等の収集運搬委託 ・粗大ごみ収集運搬券取扱店舗への業務委託
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
一般廃棄物の適正かつ安定的な収集運搬を行うとともに、ごみ集積所の適正管理等による生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
ごみの分別を徹底し、再利用可能な資源の有効利用を図る。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
環境行政を取り巻く状況等の変化に合わせ、ごみの減量化及びリサイクルの推進を行っており、家庭系ごみの収集量は減少傾向にあるが、開発等による人口の増加に伴い集積所は増加しているため、今後収集エリアやルートの変更が必要となってくる可能性がある。	市内を3区域に分け3業者と収集運搬契約を締結し実施した。集積所設置の際は、適切な収集が行えるよう、設置者への指導・助言を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
ごみ集積所数（箇所）	1, 418. 00	1, 472. 00	1, 556. 00	1, 598. 00	1, 718. 00
家庭系年間ごみ収集量（行政回収分のみ・資源含）（トン）	14, 663. 00	14, 575. 00	14, 411. 00	15, 009. 00	15, 583. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	人口増加に伴い、ごみ集積所数は増加しているが、家庭系年間ごみ収集量は減少傾向（事業所系を含むごみ総量は微増）にある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	ごみ出しが困難な高齢者等の問題もあり、今後さらに高齢化が進む中で、回収方法の再検討や粗大ごみ以外の有料化等を視野に入れる必要がある。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	216,009	221,470	224,894	231,815	233,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	14,328	14,257	12,341	15,161	13,200
	一般財源	201,681	207,213	212,553	216,654	219,800
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	2,518.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	10,324	0	0
トータルコスト		216,009	221,470	235,218	231,815	233,000